



英国日本人会の皆様へ、新年の御挨拶

令和 8 年 1 月
在英国日本国大使館
特命全権公使 池上正喜

皆様、あけましておめでとうございます。

今年は、2015 年から名誉会長を務めている総領事に代わり、特命全権公使である私から新年の御挨拶を申し上げます。

英国日本人会にとりまして、今年は設立 30 周年という節目の年に当たると承知しております。英国においては、民間企業関係者を中心に構成されている日本クラブに対し、英国日本人会は永住者を中心に、親睦を深め、助け合う組織として 1996 年に設立されました。それから 30 年を経て、昨年 10 月 1 日現在の英国の日本人永住者は、当時の約 5 倍となる約 3 万人に達しようとしております。

英国日本人会会員数も永住者が増加するのと歩調を合わせるように、昨年 12 月現在で 450 名を越える規模に成長してきています。これはひとえに、ウィンター現会長を含む歴代の会長のイニシアティブの下、理事の皆様が中心となり、会員相互の親睦をはかり、ボランティアの精神に基づいた互助と福祉活動の促進に努め、日本を遠く離れたここ英国の地で暮らして行く上で、大きな拠り所になっているから

ではないかと思えます。

特に、会員の約 5 割弱が 70 才以上であるとも聞き及んでおりますが、英国のみならず、永住者の高齢化が、これから益々進んで行くことが見込まれています。そうした中であって、英国日本人会のように、会員相互の親睦に留まらず、会員の福祉に向けた互助に積極的に取り組んでいただいていることは大変心強く、その果たす役割は益々大きくなって行くと感じているところです。

こうした会員相互の親睦と互助に加え、英国日本人会には、1936（昭和 11）年に設立され、今年 90 年を迎えるロンドン北部ヘンドンにある日本人墓地の維持・管理を当館からの委託を受ける形で 20 年以上にわたって実施してきてくださっていることに改めて感謝申し上げます。

今、我々日本人が英国で活躍できているのは、先人達が幾多の苦難を乗り越えて築いた礎に立っているからであることを忘れず、これからも日本人墓地の維持・管理にご尽力くださいますようお願い申し上げます。

大使館といたしましても、英国日本人会との関係をこれからも大切に協力を惜しまない所存です。

本年が会員の皆様にとって良い年となりますことをお祈り申し上げます。



英国日本人会の皆様



2026年1月
英国日本人会会長
ウィンター千津子

皆さま、新年明けましておめでとうございます。

新たな年の始まりにあたり、心新たに、皆様とともに新年を迎えられましたことを大変嬉しく思っております。

英国日本人会は、1996年11月に発足して以来、今年で30年目を迎えることとなりました。これもひとえに、会員の皆さま、そして理事の皆さまお一人お一人のご支援とご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。発足当時は40名ほどの小さな互助会としてスタートしましたが、現在では会員数462名、年齢層も20歳代から100歳代までと幅広く、多くの皆さまに支えられる会へと成長いたしました。ここまで歩んでこられましたことを、大変ありがたく感じております。

また、英国日本人会の管理下にあるヘンドンの日本人墓地も今年で90周年を迎え、英国日本人会発足30周年と併せ、私たちにとりましては大きな節目の年となります。

会員の皆様と力を合わせ、ぜひこの10年に一度の大切な行事を進めていきたいと考えております。

さらにJAとして、Japan Foundation 主催「大学生のための日本語スピーチコンテスト」、創立200周年を迎えるUCLで開催される「Young Challenge 2026」、そして今年で35周年を迎えるSOAS主催「ビジネス日本語スピーチコンテスト」へのスポンサー活動を通じ、次世代を担っていく方々を応援する取り組みに、今後も微力ながら関わってまいります。

私のモットーは、会員の皆さんに「JAの会員になってよかった」と感じていただける会であることです。これからも、各部署長の皆さまの力をお借りしながら、少しずつでもその思いに近づけるよう努めてまいります。英国日本人会は、まさに皆さん一人ひとりに支えられている会です。

共に学び、共に成長し、助け合いながら、これからも温かく、活気のある英国日本人会を築いていければと思います。

新年が皆様にとって、笑顔と実りの多い一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

理事会だより

●1月7日に行われた理事会の抜粋●

●ウィンター会長より新年のご挨拶

総会および忘年会が滞りなく無事に終了したことについて、関係者各位の尽力に対し、感謝の意が述べられた。

●ヘンドン墓地90周年を記念してお墓の記録を書いた小冊子を準備中

●墓地管理部 現福祉部長のホール美奈子さん (Licensed Lay

Pioneer Minister in Southwark, Church of England) が兼任として墓地管理部長に就任

●福祉部の例会において、移転先が不明となり連絡が取れなくなっている会員について協議した結果、居住地のCouncilからの通達を受け、搜索は断念することを決定した。

●英検の今後の契約について検討



会員部

●今月の会員の動き●

新入会員：4名 退会：0名 会員数：425名

・Wing 会員：19名 ・SOAS Speech Contest 入賞者：8名

・大学生 Speech Contest 入賞者：2名 ・名誉会員8名

全会員462名

更新フォーム <https://forms.gle/73VXC8UCXdJHftuQA>

お問い合わせ membership@japanassociation.org.uk

●会員特典サービス協賛店リスト (新しい協賛店もあります)

<https://japanassociation.org.uk/ja-会員特典サービス協賛店リスト/>

●組織 <https://japanassociation.org.uk/理事会構成/>

●会則 <https://www.japanassociation.org.uk/英国日本人会会則/>

●GDPR Policy <https://www.japanassociation.org.uk/事務局より/gdpr-policy/>

●同じ住所にお住まいのご家族は皆さん会員です (投票権は1票のみ)。ご家族のメールアドレス追加をご希望の方は下記にご連絡ください。Eメール membership@japanassociation.org.uk

各種イベント参加者へのお願い：

JAのイベント全てに関わる怪我や事故については自己責任において処理をされ、主催者の責任ではないことをご了承ください。

皆さま 相変わらずの寒さで春の訪れが待たれる昨今ですが、お元気でお過ごしでしょうか。



お手製のショートケーキ!懐かしがられながら完食です。



<百一歳のお祝い>

福祉部よりご連絡を差し上げております高松直喬さんは、

元旦に百一賀を迎えられました。当日は、日頃より親しくされているご近所の皆さまとご一緒に、お誕生日ならびに新年のお祝いを行いました。差し入れのお節料理を美味しく召し上がり、少し心配しておりましたおもちについても、問題なく楽しめるご様子が見られました。また、日本にお住まいの姪御さんやご友人の方々からは、お祝いのビデオメッセージが届き、皆で心温まるひとときを共有することができました。食後はカードゲームにも挑戦されました。新しいお住まいにもすっかり慣れられ、ますますお元気にお過ごしです。



<eVisa便り>

昨年末で終了したeVisa Help Deskですが、問い合わせが続いています。Home Officeのテクニカルエラーにより、いまだeVisaの手続きが完結していない方や、名前やパスポート番号の更新等についてご質問がある方は、Help Desk内で対応可能な範囲に限り、引き続き不定期ではありますが支援を続けておりますので、下記連絡先までお問い合わせください。

連絡先: evisahelpdesk@japanassociation.org.uk

<北 支部による懇親会>

Oxford Circus 駅から、最寄りの駅までVictoria Lineでたったの20分です!

日 時: 2月13日 (金) 12時半から14時まで

会 場: Taro (太郎)、Walthamstow

住 所: 76 High St, London E17 7LD

*上記住所をクリックすると、Google Map が開いて場所が表示されます。

最寄駅: Walthamstow Central (Victoria Line, Weaver Line - Zone 3) 最寄駅からは徒歩で5~6分。

申込み締切日: 2月10日 (火) 又は、定員になり次第締め切らせていただきます。

※キャンセルの場合は2月12日迄にご連絡をくださるようお願いいたします。13日の当日のキャンセルは、申し込まれた代金をお支払いいただきますことをご了承下さい。

お申し込み: こちら<https://forms.gle/NvEZouR4uhfoMmeN6>
上記リンクをクリックして、必要事項をご記入の上送信してください。お電話での申し込み又は当日の連絡先は、Tel: 07791 172 147 (由起子Marks) 迄お願いいたします。

メニュー:

1. Unaju Teriyaki Bento £21.90

2. Tuna Steak Bento £21.90

3. Mixed Veg. Tempura Bento £18.90

4. Tonkatsu Bento £20.90

5. Tofu Bento £17.90 お味噌汁付き、お茶は無料です。

お支払いは現金のみ、お釣りの無いようにお願いします。尚、非会員の方は食事代とは別に3ポンドの参加費が追加となりますことをご了承ください。お友達をお誘い合わせの上、是非お出かけ下さい。

<東 支部による懇親会>

日 時: 3月13日 (金) 12時30分から

会 場: Sushinoen

住 所: 2 White Church Ln, London E1 7QR

詳細は追ってお知らせさせていただきます。

●編み物クラブ●



冬至を越せば、日照時間が長くなる、とはいえ地球の軌道は楕円形です。このせいで、平均すれば1日2分ずつ増える

はずの日照時間が加速体制にはいるのはもう少し先になります。春を待つ間、集まって編み物をご一緒しましょう。皆さまのお越しをお待ちしています。上の作品は、現在編み物をご指導くださっている方の作品です。実用的でデザインもとっても素敵!

編み物クラブ担当者 コンソレ敦子

Tel: 07900 217 003 atsukoconsole@gmail.com

日 時: 2月17日 (火) 12時半~16時

※途中の入退は自由ですが、12時半前の入室はご遠慮ください

場 所: 来月は会場が変わります! Farm Street Church

最寄り駅: Bond StreetもしくはGreen Park

住 所: 114 Mount St, London W1K 3AH

※上記住所をクリックすると、Google Map が開いて場所が表示されます。

※お手数ですが、飲み物・カップはご用意ください。但し、給湯室はございます。

福祉部連絡先:

一般的なお問い合わせ welfare@japanassociation.org.uk

個人的なお問い合わせ hall@japanassociation.org.uk

● 1月二水会の報告 ●

1月14日【水】午後8時、2026年最初の二水会講演は「異質の中の調和」というタイトルで三輪精舎前舎主の佐藤 平顕明師をお迎えし、新年にふさわしいありがたく尊いお話を伺いました。85名という沢山の方に参加希望を頂き(参加者は60名)ありがとうございました。

まず、日本語の「和」とは一体どういう意味?という問いから始まり、「和」という概念を英語で「Harmony within Diversity」と顕明師は表現し、それでは個性の多様性の中で実現する「調和」とは?一般的に自我を殺し荒波を立てずに共感、賛同するのが「調和」と思われがちだが、それはうわべの調和でしかなく、それぞれ異なる独特な個々



が活き活きした個性を欠いての全体の調和は、本当の意味の「調和」ではない。相互理解と調和の実現が可能になるには積極的な対話とオープンマインドな聞く耳が必要となり、無知の自覚と謙虚さが柔軟な心を獲得するのに重要であるとも説かれた。そこで「和」と「同化」は性質を二分するものであり、例えば強者は弱者に対し「俺の意見に従え」と力で同化を強要しても、心はばらばらでそれぞれが分離している不安に耐え切れず同化に傾くことがある。しかし「和」とは関わっている人々がそれぞれに自分自身でありながら、ありのままの他者と相互に理解し合い、凜とした自立を保った相互理解の場にこそ、自由な独立者同士の関係としての「和」が成立するのではないだろうかと思われた。(理解できても実行が難しい。)

日本で「和」の重要性を説いたのは聖徳太子(574-622)で「十七条憲法」の第一条に「和を以て貴しと為す」とあり、言葉は古くて難しいのですが、自分の殻に閉じこもって黙りこくっているのは、「和」「調和」の実現はできず、権力を持つ強者はおごることなく、上下関係に屈せずに積極的に物を言い、当面する問題を議論することに、お互いが勇気をもって積極的に発言し、相手の言葉に耳を傾け、思い切って相手に話しかけ、静かに心中を聞く柔らかな心と、謙虚さを同時に保つことが大事と言われ、本当に耳が痛く感じた。

それではどうしたらそのような心になれるのか、ソクラテスの「無知の知」、禅でも「愚」の自覚の大切さを問われるように、自分は知っていると思っている限り、本当の謙虚さは出て来ず、本当のことは何も知らないという内面的自覚が生じて初めて、相手自身のことを思う心、ありのままのその人を思い遣る親切な心も、生まれてくるのではないのでしょうかと話される。

顕明師も一時期壁にぶつかり、西洋の方々の知的探求心の要求についていけず、多々行き詰りを感じ、どうしたものかと師に問いかけたところ、即座に「愚か者に還ることです。愚か者

になって聞いていくことです。」の言葉を頂いてからは、知ったかぶるのではなく、愚か者の自覚に還り、虚心坦懐に聞けて、人々との交流も深まり、気持ちが本当に楽になられたとのことでした。これはまさにその通り「愚か者に還る」見栄、虚偽、虚勢をかなぐり捨て原点に戻ることができればどれだけ楽だろうと思いました。そしてお話は三輪精舎建立31年目を迎えた今日、大きなお慈悲に包まれ、「自利利他」の純粋な祈りに護られてきたと当時正行寺住職だった竹原智明師やUCL副学長だったジョン・ホワイト教授の深く、強く、純粋な「自利利他」の祈りで一步一步前向きに進んでくれたことに感謝の念を表されました。

また、大乘仏教の菩薩道に説かれる「自利利他」も、キリスト教の「隣人愛」も、お釈迦さまが示されたように自分だけが悟りや救いに至るのではなく、自らを生かしながら他者をも生かし、共に歩む生き方を目指し、自分一人のための小さな悟りではなく、他の人々も共に乗ることのできる「大きな乗り物」としての大乘仏教の教えであり、「自利利他」は自分だけではなく他者の救いと一体となって初めて実現し、その教えは私たち「JA」が日々行っている仕事そのものだと共感を受けましたが、それは自尊でしょうか。

仏教という救いは、究極的にはさとりであり、人生の真実に目覚めて輪廻の苦悩から解放されることにあるとのこと。自利無くして利他はあり得ないし、その反対もなく、自利と利他の両方を目指す。まさに自分が足を踏み進めなければ他への利他は存在せず、その通りですね。自利が利他であり、利他が自利である。その根拠は、「自他一如」のさとり、自己と他者は「不二」だという究極的真実が、私たちの人生を支えるものとしてその根底にあるからですとも仰っています。

そして、「自他一如」とか、「空」とか、「真如」とか、いろんな言葉で表現される究極的な真実そのものは、私たちの内にあり、しかも私達を卓越しているとのこと、外向きに求めて得られるものではなく、真剣な内省を尽くし見返りを期待せず、お天道さんは見ていると内奥の自己の実相に少しでも目覚めることができると思いました。そして「無知の知」「愚の自覚」が自分の思いのすべてを超えたところから、救いようのない自分を支えてくれ、永遠なるいのちの故郷-内なる大自然へ還る一筋道を導いてくれるのだと確信しますと顕明師は結ばれています。今回のお話を聞き少しでも自分の中に「無知の知」「愚の自覚」に目覚めることができたことに有難く心より感謝いたします。これからも増々お元気でまた『三輪精舎に行けば顕明さんがいらっしゃる』といつまでも私達の心の柱であってください。今回は御本寺から修行に見えていらっしゃる竹原仰信さんにお手伝いをしていただきました。この講演が可能となる素晴らしい縁起を頂いたことに感謝の意を込めまして。合掌

*暖かくなりましたら有志の方々と三輪精舎を訪問企画もありますのでご期待くださいませ。また直接にご連絡希望者は次のページをご覧ください。

*三輪精舎：<https://threewheels.org.uk/>

kemmyo@threewheels.org.uk

Mr Kemmyo Taira Sato Tel: 44(0)20 8248 2542

● 2月二水会のお知らせ ●

日 時：2月11日(水) 午後8時~9時(UK時間)

講 師：遠藤 和年氏 「Endo at the Rotunda」 Owner Chef

演 題：「終わらない旅」

参加費：英国日本人会員：無料、非会員：3ポンド

会 場：オンライン (ZOOM：皆様のご自宅より参加いただけます)

講演概要：永遠のチャレンジャー、豊富な経験から新鮮な発見を見つけ自分の鮫シェフとしての不動の位置を確立し「Endo at the Rotunda」<https://www.endoatrotunda.com/> を2019年に開店。そしてなんと5カ月で ミッシェラン☆ (2019 - 2025) を獲得したカリスマ・オーナーシェフ遠藤和年さんを迎え、彼の幼少期から現在までの道のりと彼の哲学についてじっくり聞かせていただきます。そして豪華なプレゼントもクイズ正解者にはご用意しております！

※ JAクラブ1月の報告と2月のお知らせ ※



1月のJAクラブでは、細川忠興を流祖とする三斎流茶道の家元を実家に持つお母さまより茶道を学ばれた、梅村花琳さんをお招きし、「初釜」をご披露いただきました。お茶は食後にいただくということで、皆さんでお弁当をいただいた後、まずは桜もちをいただきました。先にお菓子をいただくことで、口の中に微かな甘みが残り、よりお抹茶を美味しくいただけること、また苦い抹茶をいただく前に、胃がびっくりしないよう整える目的があるとのこと。

参加者は22名でした。皆さんで順番にお茶をいただき、新年らしく和やかなひとときを楽しむことができました。



また、三斎流の茶花はまだ蕾の植物を使うそうで、参加者のお一人が椿の蕾の枝を持ってきてくださいました。またこの日、キッチンでお茶やお湯のご用意をお手伝いいただいた皆様には、心より御礼申し上げます。

2月のお知らせ

2月はビドル恵さんのご指導のもと、干支の折り紙(今年は馬)を折ります。

紅葉会新年会では、プログラムの都合により折り紙の時間を設けることができなかったため、JAクラブにて行うことになりました。ご参加の方は、できましたらハサミをご用意ください。また、折り紙を皆さんと同じ時間に開始したいと考えておりますので、できるだけ13時までにご

来場いただけますようお願いいたします。

なお、2月は和の受付がございません。13時以降にお越しの方は、出入口を開けるため、下記の番号までお電話くださいますようお願いいたします。

日 時：2月5日(木) 12:30~16:00

(出入り自由。ただし、できるだけ13時までにご入場ください)

※13:00以降にお越しの場合は、出入口を開けるため、下記の番号へお電話ください。

Tel: 07957 548 023

場 所：大和ファンデーション

13/14 Cornwall Terrace, London NW1 4QP

お問い合わせ：winter@japanassociation.org.uk

Tel: 07957 548023

※テーブル周りのお席は約16席のみのご用意となります。満席の場合は、お手数ですが会場近くのクロークルームより椅子をお運びいただき、ご使用後は元の場所へお戻しのうえご退場ください。

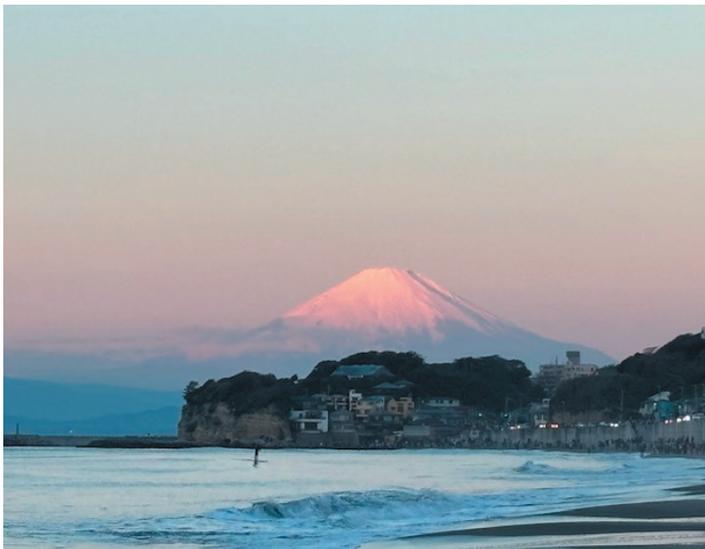
また、毎月のようにお弁当やおやつをいただきながら、皆さまと情報交換をし、和やかにおしゃべりを楽しみましょう。Mini Bring & Buy も行います。

*会場のキッチンには、マイクロウェーブ、冷蔵庫、ケトル、コップなどが揃っており、利用できます。またJA専用の日本茶もあります。

<注意事項>

会場の使用規則が厳しくなっておりますため、カップなどについてはキッチン内の「Visitor use only」と表示されているカップボードのもののみをご使用ください。使用後は必ず後片付けを行い、残ったものはJA専用ボックスに入れてください。





2026年1月1日鎌倉七里ガ浜にて

1月ももう半ばを過ぎ、冬本番の寒さが続いています。皆様はいかがお過ごしでしょうか。本年もよろしくお願い致します。

今月のナルク部の活動報告は以下のとおりです。

●ズンバゴールドチェア教室●

1月はお正月明け6日(火)に通常通り開催し、11名の方々に参加いただきました。来月も**第1火曜日3日11時から**の予定です。



●ヨガ教室●

1月は13日に予定していましたが、大西先生のご帰国便が悪天候の影響で遅延したため、急遽お休みとさせていただきます。2月は通常通り、**第2火曜日の10日、10時から**行います。※ヨガ教室は他の教室と異なり、開始時間が10時となっていますのでご注意ください。



●マインドフルネスなヨガ教室●

12月は年末を避け、第2火曜日の9日に実施し、10名の方にご参加いただきました。今月は通常通り、第4火曜日の1月27日11時から開催し、**来月も24日(火)を予定**しています。

●ナルク部例会●

1月の例会は20日(火)にオンラインで開催しました。ここでは、来月のオンライン教室の担当やメール担当を決め、理事会報告を行いました。また、年初にNALC開設者・高畑氏のお孫さんである翔吾氏がロンドンを訪問されたことが、報告されました。翔吾さんは滋賀医科大学・創発的研究センター国際共同研究部門の特任助教兼株式会社Medpreneur代表取締役、日

本国外におけるナルクの活動に関心を持っておられ、今回の欧州訪問の際にお時間をいただきました。そして、今後とも交流を深めていければ、との思いを共有いたしました。

高畑翔吾氏について(株式会社Medpreneurウェブサイト 株式会社Medpreneur ホーム - 株式会社Medpreneur より抜粋 <https://medpreneur.jp>)

その後、参加者それぞれの近況報告を行い、今年の活動についても話し合いました。



●ナルク部の活動について●

ナルク部の活動はオンライン形式が多く、遠方にお住まいの方にもご協力いただけます。月に一度の例会も、オンライン・対面・ハイブリッドのいずれかで開催しています。セミナーの企画や運営にご関心のある方は、ぜひご連絡ください。

なお、ナルク部が行っている健康関連のオンライン教室やセミナーの開催以外の活動は、次のとおりです。

●時間預託システムについて●

JA会員の皆さまは、ナルク部の時間預託システムをご利用いただけます。これは、病院への付き添い、買い物、庭仕事など、日常生活のちょっとしたお手伝いをJA会員同士で支え合う仕組みです。



ご希望があれば、ナルク部が調整役となり、サポート可能な会員を一斉メールで募ります。交通費等の実費はご負担いただきますが、サポート時間に対しては1時間につき1ポイントをご提供いただく形で、原則としてそれ以外の費用はかかりません。

●情報の紹介・収集サポート●

JA会員ネットワークを活用し、地元の庭師の紹介など、必要な情報収集のサポートも行っています。どうぞお気軽に nalc@japanassociation.org.uk までご連絡ください。

※紹介した業者または個人とのやり取り・契約は当事者間の責任でお願いいたします。JAおよび紹介者は責任を負いかねますので、ご了承ください。



同好会ガイドライン:

JAの全ての同好会の活動は、会員同士の同好の集まりであり、JAの主催する活動ではありません。それぞれの同好会の主催者が個人として自主的に運営し、参加者も自己責任で参加します。JA会員・非会員に拘わらず参加可能です。JAは何ら同好会の活動に対し、責任を負いません。



スケッチ < Alfies Antique Market とその周辺 >



古沢いくこ



ジョンソン妙子



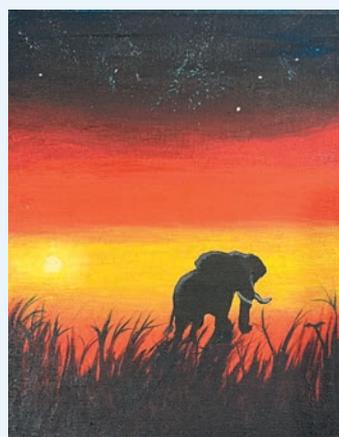
山本郁子



スタンディング百合子



グリーブス邦子



Davidson江利子



松崎美枝子



ビドル恵



ハーティみえ



シェイラー文野



島田玲子



俳句を学ぶ会

1月の句 季語は「冬の朝」

季語：冬の朝はひとしおであり身が引き締まる思いがする

桐の葉にうっすら白雪冬の朝
 目覚めつも夜明けは遅し冬の朝
 膨らんで小鳥が並ぶ冬の朝
 はからずも薄氷(うすらい) 踏むや冬の朝
 冬の朝ジムより慎重氷道
 冬の朝存在と時間想う時

廣瀬信子
 バンダースケイフ日出美
 岡部 道
 松尾美和子(オハロラン)
 ウィンター千津子
 中田浩一郎



「早朝のテムズ川」
ナルク部長 ホワイトハウス敦子氏 撮影

霜おりた向かう歩道は冬の朝
 冬の朝狐のみをり乗馬路
 冬の朝まだ外暗く息白く
 冬の朝寒さにとけ込む白い息
 雨上がり小道きらめく冬の朝
 雪だるま幸せ運ぶ冬の朝
 湯煙がほのかに匂う冬の朝

藤田幸子
 アレン郁子
 大河内啓子
 小野宣美
 野原悠介
 福重久子
 川西弘子

連絡先: chizukowinter@gmail.com

麻雀を楽しむ会



今年から、麻雀のプレーの前にルールや上がり役を確認し、またゲームの最後には点数計算を始めました。参加希望者が20名近くになる時が増えて参りましたので、しばらくの間新規の受付を見合わせる事にいたしました。2月は会場の都合で休会となります。

連絡先
hall@japanassociation.org.uk

歩く会

歩く会は来年の2月迄お休みします。

冬休み



担当者: 川西弘子
hkawanishi2@icloud.com Tel: 07394 658 773

スマホ同好会

1月13日、Apple iPhone、PCを使っている方のApple iPadを使う利点は、携帯可能で画面が大きく見やすい、またApple製品は他社より高価格であるが、OS Operating Systemの有効期間が他社と比較して長く、長期間使用出来るメリットが有り、更にApple Storeも主要都市に有って便利である事、スマホのアプリは自動更新が良いか手動更新が良いか等について、Q&Aを行いました。

Online ZOOM
ミーティング予定

第1、第2、第3、第5火曜日の「午後1時から4時」です。
P9のカレンダーをご覧ください。途中参加・退出も自由です。

JA会員・非会員に拘わらず参加可能です。初めての方は松崎美枝子までご連絡下さい。 miekobarraclough@hotmail.com Tel : 07903 445 144

今月の豆知識

iPhone Live Photo

Live Photoは、シャッターを押した前後約3秒を写真+短い動画+音声として記録する機能です。

使い方(撮影)

1. カメラアプリを開く
 2. 画面上の◎(同心円アイコン)が黄色→Live Photo ON
 3. 普通にシャッターを押すだけ
- 撮影後にベストショットを選ぶには、写真アプリ→編集→LIVEをタップしてキーフレームをスライド、好きなショットを選び、キー写真に設定をタップ。目をつぶっていない瞬間や、良い表情等をとらえるのに最適です。



投稿募集中

会報部では皆さまの寄稿文や写真の投稿などお待ちしております。
Eメールにて下記までお送り下さい。 newsletter@japanassociation.org.uk

締切日: 毎月第三水曜日

スペースの都合で掲載が叶わない場合があることをくれぐれもご了承ください。



第 21 回 大学生のための日本語スピーチコンテスト

主 催：英国日本語教育学会・国際交流基金
 日 時：2026年3月7日(土) 午後1時から(予定)
 会 場：King's College London, Strand Campus
<https://www.kcl.ac.uk/kingsvenues/locations/bush-house>
 最寄り駅：Temple 駅、Charing Cross 駅、Holborn 駅
 お申込み：<https://www.jpjpf.org.uk/whatson.php#1445>
 参加費：無料(事前登録が必要です)
 予選を勝ち抜いた大学生が様々なテーマでスピーチ・プレゼンテーションを行います。発表を聴きには是非会場にお越しください。



文 集 部

● 文 集 部 更 新 ●

地球温暖化のせいもあってか、春に先駆けて、色々の花が咲き出しました。スノードロップ(待雪草)に混じって、水仙やシクラメンまで見られるのには驚きです。
 年初から世の中が騒然としてきたようですが、待雪草の花言葉、「希望」に託して、今年一年、無事に過ごして行きたいものです。

次号春号の原稿を募集いたします。皆様からのエッセイを楽しみにしていますので、奮ってご投稿くださいますように。

『英国春秋』2026年春号(No.48)

タイトル：フリーまたは特集、子供の頃を思い出して「私の好きな童話、おとぎ話、童謡、唱歌など」

字数：A4 2～3 枚(ワード添付)

締切日：2026年3月5日

送付先：bunshu@japanassociation.org.uk



JA 活動 イベントカレンダー

詳細は各ページをご覧ください。

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3 ズンバ・ゴールド・チェア 節分	4	5 JAクラブ	6	7	8
9	10 ヨガ教室	11 二水会 建国記念の日	12	13 福祉部 北支部懇親会	14	15
16	17 編み物クラブ	18 会報締切り	19	20	21 Valentine's Day	22
23 天皇誕生日	24 マインドフルネス なヨガ教室	25	26	27		



スケッチ会：2月11日 麻雀を楽しむ会：お休み 歩く会：お休み スマホ同好会：2月3日、10日、17日

* 会報は会員のためにあるため非会員への転送はご遠慮ください。一般の方用には会報発行2週間後位にJAのホームページに掲載されます。